



妙見の森を桜の名所に

■妙見の森を桜の名所にしようと、1月19日、地元住民ら約80名が集まりました。参加者はソメイヨシノやヤマザクラ、イロハモミジなど約100本を植樹しました。



昔ながらの遊びで 交流を深める

■枕崎地区児童クラブ交流会が1月26日、枕崎小学校体育館で行われ、市内の学童クラブから約100名が参加しました。児童たちは、けん玉やコマ回し、お手玉などの昔ながらの遊びを楽しみながら、交流を深めていました。



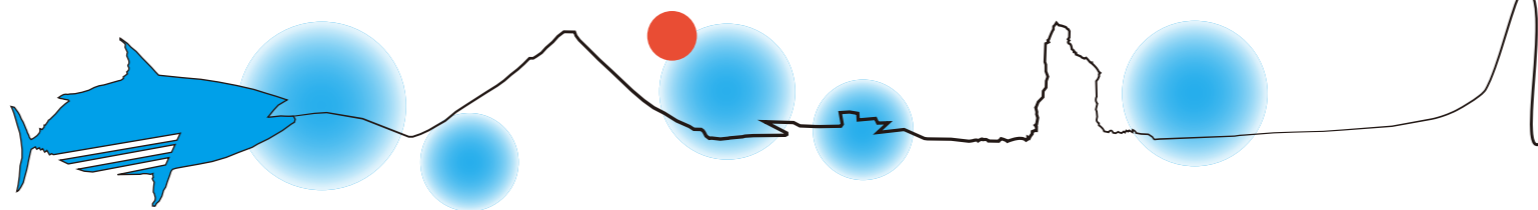
第33回老人クラブ芸能大会

■2月15日、市民会館で開催されました。市内の老人クラブから延べ20団体が出場し、踊りや歌、体操などさまざまな演技を元気に披露しました。



枕崎こどもカツオ マイスター検定

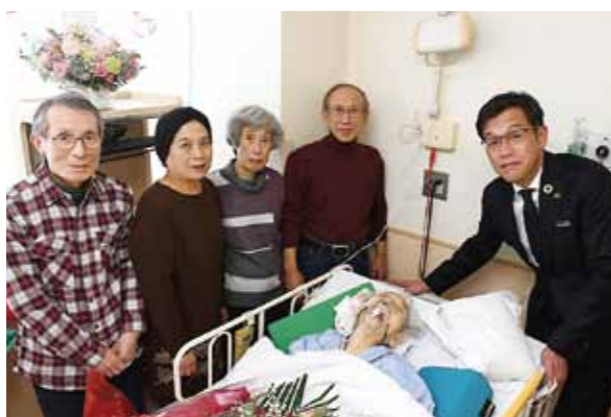
■第9回枕崎こどもカツオマイスター検定が、2月23日に地場センター等で行われました。今年は過去最多の142名の児童が参加し、鰹節工場見学やカツオのわら焼きなどの実技試験と筆記試験に挑戦しました。



新春の枕崎路を駆け抜ける ～第42回枕崎新春かつおジョギング大会

第42回枕崎新春かつおジョギング大会が1月20日、市営野球場周辺、火之神方面への1、2、4、10kmの4コースで行われました。遠くは愛知県からなど、県内外から585名が参加し、新春の枕崎路を駆け抜けました。

各部門での優勝者は次のとおりです(敬称略)。
【1km・小学1～3年生】男子=牧尾優舞、女子=當房智華
【2km・小学生】男子=上箆優斗、女子=三宅美桜
【4km・中学生】男子=加藤大夢、女子=今別府七海
【4km・高校生～39歳以下】男子=下池正、女子=堀ゆきな
【4km・40歳以上】男子=堤由光、女子=有木千代子
【10km・高校生～39歳以下】男子=森静哉、女子=中川美澄
【10km・40歳～59歳以下】男子=松永鉄男、女子=義永祐子
【10km・60歳以上】男子=上釜英世、女子=松下エツ子



100歳の誕生日を迎えました ～四元シヅエさん(岩崎町)

四元シヅエさんが2月5日、100歳の誕生日を迎え、同日、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

四元さんは枕崎市で生まれ育ち、若い頃は農業をしながら、娘2人、息子1人の3人の子どもを育てました。趣味は編み物で、98歳ぐらいまで編み物をしていました。 (*四元シヅエさんは2月6日にお亡くなりになりました。今回、ご家族のご意向により掲載しています。)



①枕崎の海の幸と山の幸が詰まった「枕崎昆鯉出汁愛鍋」 ②グランプリ獲得を目指して気合十分な参加メンバー ③息の合ったチームワークを見せる調理スタッフ ④枕崎のブース前には行列ができました。 ⑤インタビューを受ける枕崎市通り会連合会の加藤隆一会長

川辺チーム健闘の7位 ～第66回県下一周市郡対抗駅伝競走大会

第66回県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月16日から5日間の日程で開催され、川辺チームは総合7位と健闘しました。初日の16日は本市を通過。第8中継所の枕崎市役所前には、多くの市民が応援に駆けつけランナーたちに声援を送りました。

会場では恒例となった「まくらざきハーモニーネットワーク委員会」による茶節や腹皮のから揚げの振舞いもあり、大盛況となっていました。

本市関係選手では、立神中学校出身の田畑庸祐選手が2日目の2区で力強い走りをみせていました。



「枕崎昆鯉出汁愛鍋」がグランプリに ～Show-1グルメグランプリ ご当地鍋大会

2月3日にかごしま県民交流センターで行われたShow-1グルメグランプリにおいて、枕崎市通り会連合会が出品した「枕崎昆鯉出汁愛鍋」が見事グランプリを獲得しました。

今回のShow-1グルメグランプリは、「ご当地鍋」をテーマに開催され、県内6市1町から9団体がオリジナルの鍋を出品。「枕崎昆鯉出汁愛鍋」は、枕崎のかつお節と北海道稚内産の利尻昆布からとった黄金だしをベースに、B1腹皮や鹿籠豚など枕崎の海の幸、山の幸が詰まった鍋で、当日は多くの人々が枕崎のブース前に列を成していました。

枕崎市通り会連合会の加藤隆一会長は「枕崎鰹節という素晴らしい素材と稚内の利尻昆布で昆鯉黄金出汁ができあがり、どこにも負けない味が出せた」と話しました。



根性が尽きそうになったら枕崎小学校に ～枕崎小学校に「ど根性アコウの木」を植樹

以前テレビなどで話題となった「ど根性アコウの木」が、ちゃんサネさんをはじめとする「ど根性アコウの木を活かす会」によって、市内外の8カ所にそれぞれのテーマを設定して植樹されました。

1月22日には、8カ所のうちのひとつである枕崎小学校で6年生を対象に、ちゃんサネさんによる「ど根性アコウの木」の授業が行われました。ちゃんサネさんは3月に卒業を迎える子どもたちに「根性が尽きそうになったら、ど根性アコウの木がある枕崎小学校に戻って来てほしい」と話しました。その後、子どもたちは校庭に出て、「思いやり」のテーマが設定された「ど根性アコウの木」を植樹しました。